

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところでありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

【工事事務(速報)発生状況】 (H21.10.31現在)

	10月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成21年度(今年度)	6件	55件	0人	26人
平成20年度(昨年度)	10件	50件	1人	26人

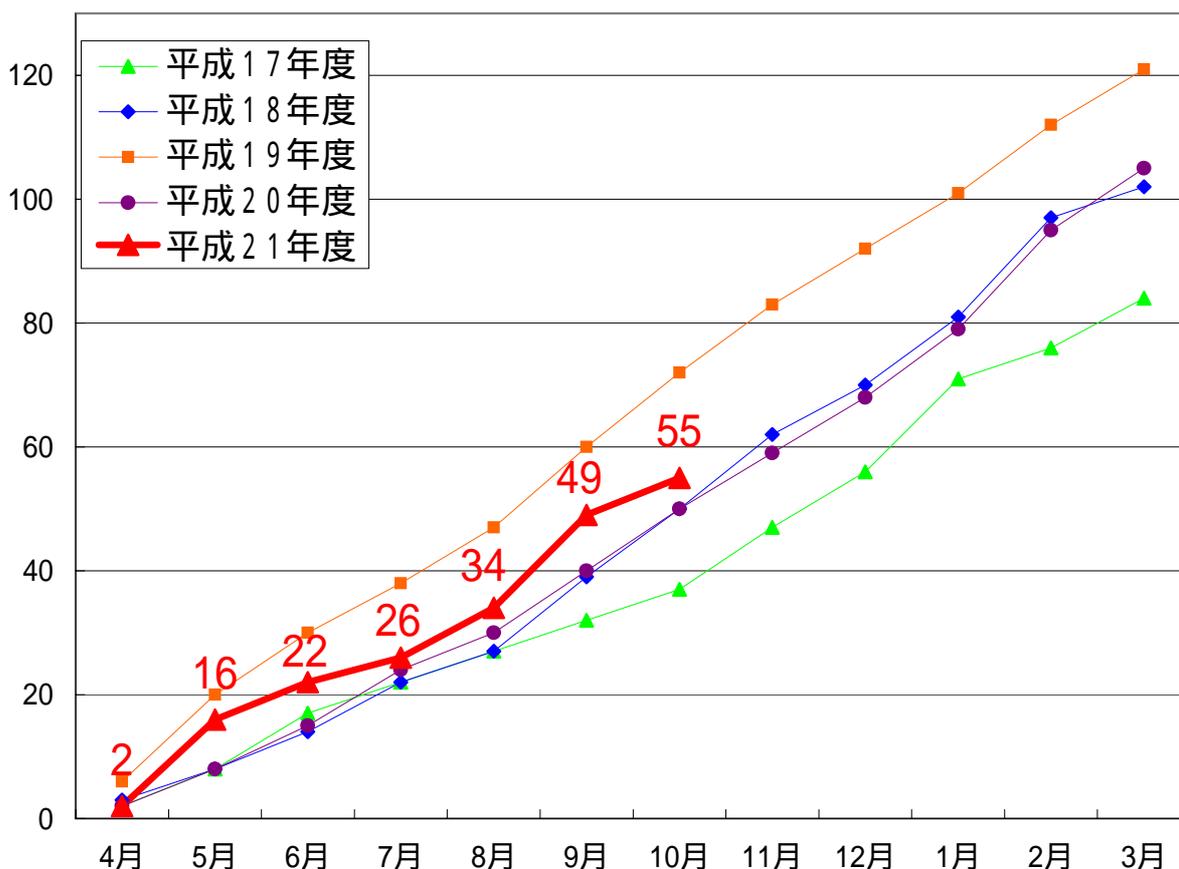
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

注2) 「10月発生件数」は、10/1～10/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～10/31の間に起きた件数。(累計分)

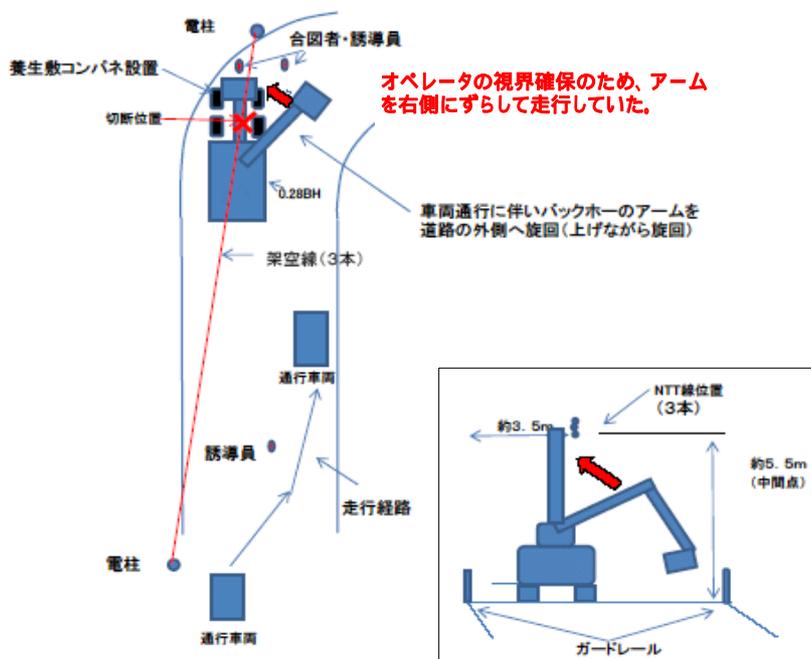
注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～10/31の累計人数を示す。

注5) 平成21年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。



発生日時	平成 21 年 10 月 5 日 (月)	8 時 30 分	天候	曇
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	架空線 (通信線) 3 本切断
事故概要	一般道をバックホウで走行中、一般車を避けるためにアームを旋回したところ、上空の架空線に接触、切断させたもの。			

事故発生状況

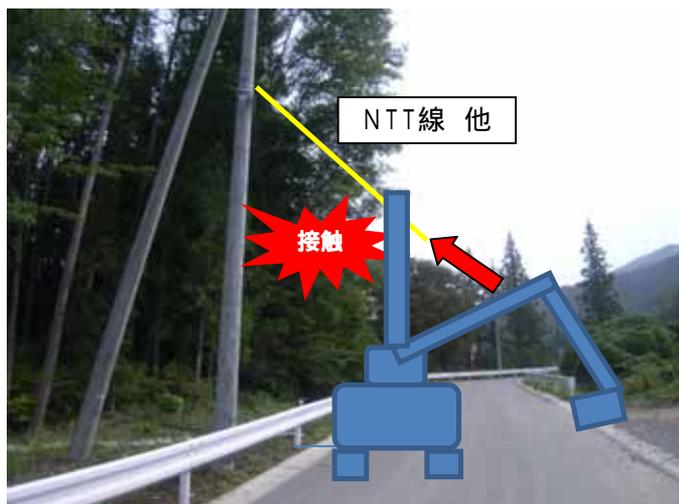


・事故前々日に元請け業者、下請け業者での打合せで「バックホウは回送」とする計画だった。

・事故直前に回送車の手配ミスがあったため、公道上をバックホウを自走させて現場に向かわせることにした。

・結果、公道上で一般車を避けるためにアームを旋回したところ、上空の架空線に接触し、切断させたもの。

損傷状況写真



【事故発生原因】

- ・公道上を無許可で重機走行させたこと。
- ・架空線に近接した場所で、不用意に重機を操作したこと。

【事故防止のポイント】

- ・重機の輸送手順を徹底すること (法令遵守)。
- ・安全教育等で架空線付近に関する重機作業についての周知徹底。(アームは下げて移動) など

発生日時	平成 21 年 10 月 5 日 (月) 16 時 00 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	パトロールカー損傷	
事故概要	パトロールカーにて河川巡視中、道路上の支柱に接触したものを。				

事故発生状況



・河川巡視中、主要県道へ移る際、長いポールに気を取られ、奥にあった短いポールに気付かずに接触してしまった。

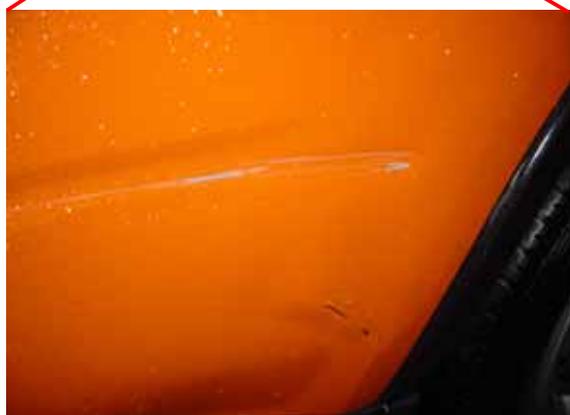


【事故発生原因】

・運転手の周囲確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

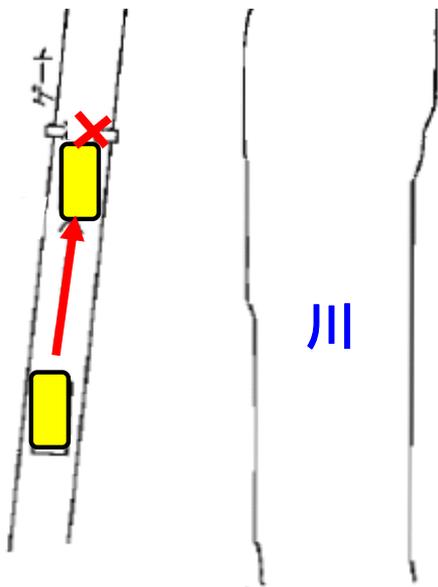
・**車両運転安全教育の徹底。** など



損傷箇所

発生日時	平成 21 年 10 月 12 日 (月) 14 時 00 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
被災の程度	パトロールカー前部バンパー損傷		
事故概要	河川巡視中、車両制限柵を通過する際、前部バンパー右隅が接触し、損傷させたものである。		

被災状況写真



損傷箇所

【事故発生原因】

・運転手の周囲確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両運転安全教育の徹底。 など

発生日時	平成 21 年 10 月 29 日 (木) 15 時 10 分			天候	晴
工事情報	公園系事務所 造園工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	散水用の給水管 (25) 損傷	
事故概要	汚水柵を新設するため、周辺をバックホウで掘削中、埋設されていた給水管にバックホウの爪が接触し、漏水が発生したものを。				

事故発生状況(断面図)



- ・前日に位置出しした箇所をバックホウ(0.2m³)を用いて掘削を開始した。
- ・深さ650mmのところ埋設シートを発見したので、その後は手掘りにて作業を継続。
- ・**人力にて集積した土砂をバックホウにてかき上げた**ところ、埋設されていた給水管 (25mm) に接触し、漏水が発生。
(土砂をかき上げる際、**バックホウの爪が給水管に接触**し、接続部が抜けた。)

【事故発生原因】

- ・地下埋設物の存在を把握していたにもかかわらず、**不用意にバックホウを用いて作業を継続した**こと。

【事故防止のポイント】

- ・地下埋設物が想定される箇所・周辺では**不用意に重機は用いない**。
- ・**人力にて掘削した土砂は安全な箇所に集積させる**。 など